

ASDの「多様性」ある生き方への支援

～性を通じた人間関係、 余暇支援、自己理解を通して～

独自の研究や活動を行っておられる専門家の先生方をお迎えして、講演会&討論会を開催いたします。一人ひとりのASDが「自分らしく生きる」ために必要なスキルを主体的に見つけながら、「多様性」ある生き方を楽しむための支援を考える機会にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

2018年2月17日(土)
13:30～16:50

講師プロフィール

木谷秀勝

山口大学教育学部附属教育実践総合センター教授。
1958年山口県生まれ。
九州大学大学院教育学研究科博士課程単位満了退学。
九州女子短期大学講師、同短期大学助教授
1998年山口大学教育学部助教授、2011年より現職。
専攻は、臨床心理学、ASDへの特別支援教育、臨床描画法

木谷 秀勝 先生

「自分らしさ」を活かした青年期ASDへの支援

川上ちひろ 先生

発達障がいがある子どもたちの育ちを、
“性”の視点から考える

加藤 浩平 先生

余暇・趣味の活動(アニメ・漫画・ゲーム)を
通じたASDの青年たちのコミュニケーション支援

川上ちひろ

岐阜大学医学教育開発センター
バーチャルスキル部門併任講師 博士(医学)
RN,PHN,MA,PhD
専門:医療者教育/保健指導・健康支援教育/特別支援教育(性教育)
人間関係の視点から発達障がいの性の問題を研究にとり
くんでいる。著書に「自閉症スペクトラム症のある子への
性と関係性の教育:具体的なケースから考える思春期の
支援」(単著、金子書房、2015年)などがある。

加藤浩平

東京学芸大学教育学部 研究員
出版社の編集者として活躍する傍ら、ASDの青年への
TRPGを通してのコミュニケーションを研究
テーブルトークロールプレイングゲーム(TRPG)による
発達障がい児の余暇支援活動の意義を認められ、公益財
団法人科学技術融合推進財団(FOST)より、FOST新人
賞を受賞。

場 所: 福岡県教育会館3階 大会議室
(定員270名)福岡市東区馬出4丁目12-22

参加費: 2,000円

お申し込み締め切りは2月14日(水)です。

詳細は裏面をごらんください

